令和８年度 環境技術研修会

～ 不安定な中東情勢下におけるカーボンニュートラルへの挑戦 ～

開催趣旨

近年の環境意識の高まりを受け、SCOPE３も含めたサプライチェーン全体での温室効果ガス削減が求められています。これに加え、中東情勢に端を発するエネルギー価格の高騰やナフサ不足により関連製品の供給不安が続き、事業所での省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの導入、製造プロセスの見直しによるCO2排出削減の重要性が高まっています。そこで本研修会では、（株）中井俊裕カーボンニュートラル・ラボ 中井 俊裕 先生に世界情勢も含めたカーボンニュートラルの最新動向についてご講演をいただき、これに貢献する技術として「新エネルギー・省エネ」「代替素材」に関連するビジネスを展開する企業の方々に、その取り組みを紹介していただきます。

プログラム

▶ 13:00 ～ 受付開始

START 13:35

講演１「混迷する石油市場とどう向き合うべきか」

講師：株式会社中井俊裕カーボンニュートラル・ラボ 代表取締役 中井 俊裕 氏

中東情勢が混迷を極める中、“気候変動問題への対処”と“エネルギー安全保障”の両輪をすすめるために、世界ではどのような変化が起こっているのかを自動車業界や再エネの分野を中心に紹介します。

START 14:55

講演２「グリーン水素と排熱活用によるカーボンニュートラル事業について」

講師：高砂熱学工業株式会社カーボンニュートラル事業本部 佐瀬 善治 氏

高砂熱学工業(株)はグループパーパス「環境革新で、地球の未来を切りひらく」のもと、「環境クリエイター®」を標榜し、自社製水電解装置によるグリーン水素の製造供給および未利用排熱活用による熱融通の事業化を目指し、カーボンニュートラルに資する新たな環境価値創造に取り組んでいます。

START 15:35

講演３「非食用米から生まれた新素材「ライスレジン」の性能と応用事例」

講師：株式会社ライスレジン CCO 奥田 真司 氏

(株)ライスレジンは食用に適さないお米を原料にした国産バイオマスプラスチック「ライスレジン」を開発・製造しています。石油由来樹脂の削減とCO2低減に貢献する新素材の特長・性能、また自治体の指定ごみ袋や食器、容器等への導入事例、さらには今後の展望を紹介します。

日時	令和８年12月２日（水） 13:30 ～ 16:20 (受付開始13：00)	定員	50名
会場	静岡県工業技術研究所 講堂 （静岡市葵区牧ケ谷2078番地）	参加費	無 料
方式	現地対面 （静岡県資源環境技術研究会の会員はweb視聴可）		

【主催】
静岡県資源環境技術研究会
静岡県工業技術研究所

【お問い合わせ先】
静岡県工業技術研究所
環境エネルギー科 中島・神谷
TEL: 054-278-3026
E-mail: sk-kankyou@pref.shizuoka.lg.jp

お申し込み（11/25締切）
右のQRコードからお申し込みください
https://apply.e-tumo.jp/pref-shizuoka-u/offer/offerList_detail?tempSeq=22479

※御登録いただいた個人情報は、研修会案内や事務処理にのみ利用します。